

「市民アンケート」・寄せられた声・要望… きちんと市政に(国政に)届けます

森友学園

共謀罪

●「毎日入れる入浴施設があればうれしい」

---この要望はたくさん寄せられています。それに応えるには、温泉を掘る・施設をつくる・巡回バスを回す…など準備が必要です。市として真剣に検討・具体化するよう求めています

川北町や白山市(松任)のような入浴施設がぜひほしい。(60代男性・旧宇ノ気町)

●「スクールバス出してほしい」---旧七塚町(白尾や遠塚から)

---「小学1.2年生に1時間半も歩かせるのはどうなのか(白尾)、「とくに真夏や真冬の通学は危ない」(遠塚ニュータウン)などの声も寄せられています。

白尾からは「中学生の自転車通学を認めてほしい」との要望もあり、日本共産党議員は、「実状に合った「規定」の見直し」を市教員委員会に求めました。

●「『病時保育』をかほく市内でやってほしい、切実！」

---遠塚の1歳の子をもつ20代のママからの切実な声です。

●「住宅リフォーム助成制度実現してほしい！」

---津幡町では、平成24・25年の2年間で1億4,000万円助成して12億円の工事が実施されました(日本共産党議員の提案実る!)。経済波及効果は8.5倍の12億円!内灘町・羽咋市でもこの間1,000万円~2,000万円の予算で実施しました。

●「月100時間の残業を認めるなんて！」

---日本共産党は「週15時間、月45時間、年間600時間まで」とした厚生労働省大臣告示の法制化を“対案”として示しています。

●「志賀原発の事故が心配、かほく市だって住めなくなる」

---日本共産党は、「直下にも周辺にも活断層のある志賀原発は廃炉にするしかないでしょう」と北電に“決断”を迫っています。

●「介護保険の利用料が高いから利用回数減らしてる」

---「介護保険料・利用料の負担軽減」は「市民アンケート」で一番多い声です。

日本共産党の1議席は福祉・くらし守る力です

12年前に議席を失ったとき、介護保険の利用料助成制度が打ち切られてしまいました。

この制度は、当時の七塚町で日本共産党議員団(2名)が他の議員に呼びかけて共同してつくりました。500人ほどが助成を受けていました。

市議会では、高すぎる国保税や介護保険料の引き下げ---福祉や社会保障を良くしようという質問を、日本共産党議員は毎議会のように取り上げています(他の議員はほとんど取り上げません)。---日本共産党の1議席は福祉・くらし守る力です。

「政治変えたい」の思いを日本共産党議員に

市民のみなさんと市政をつなぐパイプ役ー日本共産党議員

